



2026 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 オ ー エ ス ジ ー 株 式 会 社
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 大 沢 伸 朗
(コード： 6136 東証プライム・名証プレミア)
問 合 せ 先 経 営 戦 略 セ ン タ ー 長 溝 渕 和 義
(TEL. 0 5 3 3 - 8 2 - 3 2 8 9)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026 年 7 月 10 日に公表いたしました通期連結業績予想及び期末配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2026 年 11 月期通期連結業績予想数値の修正（2025 年 12 月 1 日～2026 年 11 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2026 年 7 月 10 日発表)	185,000	30,000	32,000	21,000	255.60
今回修正予想(B)	193,000	36,000	38,000	24,000	288.48
増減額(B-A)	8,000	6,000	6,000	3,000	
増減率(%)	4.3	20.0	18.8	14.3	
(ご参考)前期実績 (2025 年 11 月期)	160,619	20,330	22,354	14,334	172.11

修正の理由

当第3四半期連結累計期間においては、主要市場における需要が総じて底堅く、特に航空・防衛関連、電子部品・半導体製造装置及びデータセンター向け、エネルギー関連並びに医療関連の需要が堅調に推移いたしました。これらの需要拡大に伴い、日本からの輸出販売が増加したことに加え、グループ会社の稼働率が向上し、売上高及び利益は当初計画を上回る水準で推移いたしました。

また、原材料事業を営むグループ会社において、タングステン価格上昇前に調達した原材料在庫の使用が当初想定を上回って継続したことから、販売価格改定の効果が想定以上に収益性向上へ寄与したことに加え、過年度に課された米国関税に係る還付金の計上が利益増加要因となりました。

第4四半期においては、原材料価格の動向や地政学的リスクなど先行き不透明な要因があるものの、第3四半期までの業績進捗及び足元の受注状況等を勘案すると、引き続き堅調な需要環境が継続することが見込まれます。

これらの状況を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回公表予想を上回る見込みとなりましたので、通期業績予想を上記のとおり修正いたします。

2. 配当予想の修正

2026 年 11 月期配当予想の修正（2025 年 12 月 1 日～2026 年 11 月 30 日）

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2026 年 7 月 10 日発表)	—	39.00	—	76.00	115.00
今回修正予想				91.00	130.00
当期実績	—	39.00	—		
(ご参考) 前期実績 (2025 年 11 月期)	—	28.00	—	60.00	88.00

修正の理由

当社は、2026 年 11 月期より株主還元の充実を目的として、配当性向 45%または DOE（株主資本配当率）3.5%のいずれか高い水準を目安とする配当基準を採用し、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針としております。

今回の通期連結業績予想の修正を踏まえ、当該方針に基づき年間配当予想を見直した結果、期末配当予想を 15 円増額し、91 円に修正いたします。なお、年間配当予想は 1 株当たり 130 円となる予定です。

但し、上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上